

9年生防災学習「消防本部による搬送法と救急法」

9年生の総合的な学習では、「地域の役に立つ人になる」をテーマに、1学期から継続中の「地域貢献活動」に加え、「防災学習」を、ゲスト講師をお迎えして実習を交えて行っています。

前回は危機管理課と地域の皆様をお招きして、一緒に学区の防災マップを作成しました。

2回目となる今回は、磐田市消防本部と豊田分遣所の皆様による「救護法」と「救急法」を実習として学びました。



教室では、AED を用いた「救護法」を教わり、全員がやってみました。

「大丈夫ですか！？聞こえますか？」

「すみません 119 番通報お願いします」

「あなたは、AED を持ってきてください」



実際に3人組になって、役割分担をしながら、実践をしました。先生も一緒に、チームで学びました。

ランチルームでは、2グループに分かれて三角巾を用いた「応急手当講習」と、おんぶの仕方や、毛布・担架を使った「搬送法」を学び、実践しました。



「見る」と「やる」では大違い。何度も聞いてやり直したり、コツを聞いて納得したりして、真剣に取り組みました。毎年研修を受けている先生も、「理由や具体例を教わったので、より分かりやすかった」と言っていました。

生徒の声を紹介します。「“助けを求めている人の気持ちを第一に”という言葉が印象に残った」「どれも大変な作業だけど、これが人の命につながるんだと思った」「教わっただけでなく、それを使いこなせることが大切だと思った」「もし倒れていたり、意識が無い人がいたら、迷わず自分ができることをやるのが大切だと思うので、学んだことを活かせるようにしたい」「自分にできる事を精いっぱいやろうという気持ちになった」



↑ 現在豊田中にいる先生の教え子の消防士さんがいらっしや、感動の再会もありました。